

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第3011号

昭和24年4月23日（第三種郵便物認可）

10/30

平成24年

(2012)

(毎週火曜日発行)

川崎内陸で募集賃料上昇

JA—LPA

埼玉は一部除き下落傾向

で四千七百円だった最低募集賃料は五千八十円となり、約八%上昇した。東京都城東、横浜内陸、千葉県湾岸など計九地区でも値上がり。上昇幅は十円から七十円だった。

4地域で小幅な下落に

一方、埼玉県は募集賃料の下落が目立った。川越市や入間市など物流施設開発が進む県西地域は賃料の上昇が続いたものの、県南や県東など四地域では三十円から七十円の幅で下落した。

同調査は、イーソーコ（本社・東京、遠藤文社長）が運営する物流不動産情報サイト「イーソーコ.com」の情報を基にデータを抽出。日通不動産（同、佐野弘明社長）の各支店からの情報も反映させ、各地域の動向をまとめた。（小林 孝博）

物流不動産の評価などを行う日本物流不動産評価機構（JALPA、望月光政代表理事）は十七日、東京、神奈川、埼玉、千葉の一都三県にある物流施設の九月の平均募集賃料をまとめた。昨年十二月から二月に行った前回調査と比べ、一坪当たりの賃料が最も上昇したのは神奈川県川崎内陸地区。前回調査